

「研究についてのお知らせ」

研究名： 救急・外来より帰宅した患者における菌血症の予測因子に関する後ろ向き観察研究

同意の取得について：

今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代わりに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究者名：

研究責任者：中頭病院 臨床研修管理委員長 医師 間山泰晃
中頭病院 副研修委員長 医師 興那覇忠博

研究参加者：（研修医）新垣雄大、荒谷真子、糸満奈津子、神山佳奈、小島亮、
佐村優衣、杉野文音、高江洲開、高江洲太志、田中政徳、
露久保菜摘

研究協力者：群星沖縄臨床研修センター長 医師 徳田安春

研究の意義と目的：

救急・外来において、バイタルサインが安定し帰宅可能と判断された患者の中には、後日、菌血症や重篤な感染症が判明する事例が存在する。入院が必要な重篤患者における菌血症の知見は豊富である一方、比較的全身状態が安定しており、必ずしも入院管理を必要としない患者に焦点を当てた検討は限られている。帰宅後の急変や見逃しを防ぐためには、外来受診時点で覚知可能な菌血症を予測する明確な臨床的指標が必要とされる。

観察研究の方法と対象：

2025 年 4 月から 2026 年 3 月までの 1 年間に、当院に救急搬送または外来にて血液培養を採取され帰宅可能と判断された患者

研究に用いる試料・情報の種類：

利用させて頂くカルテ情報は下記。

2025 年 4 月から 2026 年 3 月までの 1 年間に、当院に救急搬送または外来にて血液培養を採取され帰宅可能と判断された症例を対象とし、診療録を後方視的に探索する。

- ① 臨床所見（年齢、性別、既往歴、初診時のバイタルサイン、悪寒戦慄の有無）

- ② 検査所見（血算、生化学、血液ガス分析、尿一般検査）
- ③ 臨床経過（初診時の暫定診断、判明した菌種、陽性化時間）

研究解析期間：

2026 年 8 月～2026 年 12 月

研究対象者の種類：

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言、及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に従って本研究を実施する。

個人情報の保護：

研究者及び研究に関わる者は、研究対象者の個人情報保護について適用される法令、条例を遵守する。また、研究対象者の個人情報及びプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らしてはならない。研究者がその職を退いた後も同様とする。研究の結果を公表する際にも、個人を特定することのできる情報は含まれない。データの取り扱いには慎重を期し、情報漏洩を防止する最大限の対策を講じる。データは、生年月日や住所、氏名等の個人を識別できる情報を除いた標準解析ファイル (Standard analysis file) にしたうえで、病院内の電子カルテが入った PC もしくはウイルス対策ソフトで保護された PC 上でのみ、解析を行う。そのデータが、USB の持ち運び等により紛失することを防ぐため、できるだけ USB 上に保存する時間を短くし、暗号化するなどの対策を行い、研究責任者がデータの入った USB の管理に責任を持つ。本研究において採取したデータ等は少なくとも本研究の終了報告から 1 年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から 1 年を経過したいずれか遅い日までの期間、施設可能な場所で適切に保管する。廃棄する際は匿名化し個人情報に十分注意して行う。

外部への試料・情報の提供：特になし

利益相反について：

本研究は群馬沖縄臨床研修センター臨床研究倫理審査委員会に必要事項を申告しその審議と承認を得るものとする。利益相反は特になし。

お問い合わせ先：

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。臨床データが当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者

としません。その場合、患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先：中頭病院 臨床教育開発センター

電話：098-939-1300（代表）

研究担当者：[間山泰晃](#)（救急科部長/研修管理委員長）